

無病息災祈る茅の輪くぐり

茅野の御座石神社「夏越の大祓式」

茅野市本町東の御座石神社で25日、「夏越の大祓式」が行われた。氏子総代（上原平二代表）や区役員、隣接する中央保育園の年長・年中児、住民ら約40人が参加。紙の人形によるお払いをして身を清め、氏子がカヤで仕立てた「茅の輪」をくぐり、無病

息災を祈った。

神職の祓詞奏上に続いて、配られた紙の「人形」で体をなで、息を吹き掛け、茅舟に納めた。神職を先頭に「はらえたまい、清めたまえ」と唱えながら左右に8の字を描くように3回くぐり、社殿に進んで参拝。園児の参加は恒

健康を願って茅の輪をくぐる園児ら



例で、見よう見まねで行い「元気に暮らせますように」と祈っていた。

時まで設置するので自由にくぐって」と話していた。

（武井葉子）

同神社の夏越の大祓式は6月27日に行ってきたが曜日の関係で前倒しに。カヤは今年も伊那市高遠町藤沢からもらい受けた。22日に氏子が出向いて刈り取り、その日のうちに茅の輪を作った。

上原代表は「子どもも大勢参加し伝統行事に触れてもらえてよかった。茅の輪は29日午前10